

4. Edwin Mulongoti 小学校の給水改善（ザンビア）

- 実施団体： Child Youth Intellectuals for Change (CYIC) (#226)
- 実施地： ザンビア ルサカ州 ルサカ地区 マテロ選挙区 リランダ共同体
- プロジェクト予算： 1,584.77 (JWFファンド1,500ドル、団体84.77ドル)
- 受益者数： 2,127人(男性20人、女性15人、子ども2,092人)
- 実施地の水問題：

Edwin Mulongoti 小学校には貯水槽3基と打ち抜き井戸施設があっても慢性的な水不足である。井戸ポンプが電力会社ZESCOの給電に依存しており、頻繁な停電によってポンプ稼働と貯水能力が大きく制限され、貯水槽が満たされず必要な水供給ができない。この水不足により、トイレに水がない等の不衛生な環境を引き起こしている。栄養指導や環境教育に不可欠な果樹園や菜園の存続も脅かされている。CYICは最近、第4の貯水槽を寄贈して貯水能力向上を図ったが、停電は未解決のままである。



菜園に水やりをできない生徒たち



満たされない既設貯水槽4基



設置希望するインバーター、太陽光パネル

- 主な活動内容： 既設井戸水中ポンプ電源を太陽光パネルに換装する。貯水槽4基の効率運営、学校職員向け維持管理研修、生徒向け衛生教育セッション等。
- 特長(持続性)： SWSC(学校水と衛生委員会)の設立。教職員が施設管理、生徒の衛生・環境クラブが適切な使用と衛生意識を向上する。PTAや保護者は資金や資材の調達、地域住民はボランティア支援で関与する。
- 実施団体： CYICは、2017年に設立された登録非営利団体。子どもや若者に識字能力、環境の持続可能性、地域社会のレジリエンス(回復力)の促進活動を提供している。この学校ではKubelenga na Kulima (To Read and Garden)という識字力向上と耕作による気候変動への関心喚起運動を行っており、当プロジェクトもその一環である。